

07.02.24 岡山道州制シンポ 議事録



知事の挨拶



H グランビアの会場は満席

知事挨拶

県外からも多数の参加者あり

岡山は他よりも早い時期から道州制に着手してきた

岡山県は中四国州を表明

知事会に道州制特別委員会を設置 委員長として基本的考え方をまとめた

中央集権体制から地方分権改革への流れを強力に推進

道州制は「分権改革の究極の姿」であり、「地方を元気に変える仕組み」である

林芳正(よしまさ)

内閣府副大臣 道州制担当副大臣(渡辺大臣の補佐役) 山口県 下関出身
道州制

06.02.28 地制調の答申 安倍内閣は3年間で道州制ビジョンをつくる

北海道をモデルに 道州制特区法案をつかった ビジョン懇 石井知事も委員に就任
特区法案

国の出先と県の仕事が重複している これが一つのポイント

北海道の場合にはダブりの構図がよくわかる

北海道以外にも「特定広域団体」=2~3県の合併で 特別措置を講じる事が出来る

その場合 交付金の率を変えない

権限はあくまで下に下ろす方向であって その逆はない?

地制調が示した区割りは「案」ではなくて「例」である

道州制と特区制度を平行で進行

道州制は今後国民の意見を聴取

特区は今後変更提案を出す予定

ビジョン懇は協議会を立ち上げた

小委員会には 岡山の橋本岳氏が参加

遠藤委員レポート=びっくりする様な提言をたたき案として配布 (今回も資料添付)

東京への対抗軸

東京への進学~就職の問題 地方大学の「地元就職の推薦枠」を拡大など

制度だけでは難しい 道州制を梃子にして色々考える必要がある
東京には各県ではなく、もっと束になって対抗する必要がある
マスメディアが東京を宣伝する 何でもが東京のPRとなっている
ものごとには、フェイスツーフェイスの必要も
全部東京ではなくて 機能の分化を考える必要

中央の抵抗

まずは官僚の 3~4枚腰を 2枚腰に変える必要

石井知事

知事会の考え方

- 1分権改革が第一の狙い 財政再建ではない
- 2三層制から二層制へ
- 3役割分担 国の事務を限定
- 4国の地方部局は廃止し 中央を解体
- 5立法権の付与拡大
- 6税財政制度の改革
- 7区域割り先行論はダメ 先に分権改革の続行を

国と地方の一体となった検討組織を

検討課題・・・資料参照

県としての役割・・・広報誌参照

東京との関係

偏在性の少ない税の形への提案が必要

行革の話は分かり易いのだが 昨今の「交付税削減が先行」では困る

地方交付税ではなくて「地方共有税」にして配分しよう

東京に法人税が集中 「本社と工場の税配分のありかた」などを検討すべき

道州制は

国のかたちを変える改革 国民意識の醸成 国民的議論が必要

岡崎彬(あきら)

岡山県商工会議所連合会会長

東京一極集中 地方の復権

青年会議所では 自治体を 330 にしてはと提言している

経済界の県下アンケート

導入時期; 50%数が 10年以内 5年以内20% (四国では 10~20年先と回答)

メリット;行財政改革の進展 デメリット;地域格差の拡大、市町村合併でも同じ

圏域; 中四国州 33.5% 別々32.9%と拮抗 後で一緒 24.7%

四国では 四国州 70.6%と圧倒的

州都； 交通の利便性 70% 行政経済の集中 60% 分散案もある
課題； 制度設計を早く 70%

水野三重子

岡山婦人協議会会長

無関心ではなかったが 全国組織なので 全国会議が出来なくなるのでは？
学習の機会をつくった 九州佐賀で大会 藤田知事に解説してもらった

地方分権と地域活性化は同じという理解

道州制はやる気になれば達成できるはず

例えば環境問題

トイレットペーパー 大手は純パルプ 古紙は広域で運動する 四国も一緒がいい
主体性の自覚

行政主導から住民主体へ には時間が掛かる

特に女性は無関心かも 大声への反論をしない 追従しがちな性格がある

男女共同参画社会の実現 推進

女性の「学習～意見～意思～発言～責任」の自覚 「自分を持つ」ことの必要性

ネットの社会で多くの意見を聞く必要 十分な議論をしたい

「自立」は 結局のところ、「個人の生き方」に行き着く

たしかに「自立は苦しい」しかしそれでも私は「喜び爽やかさ」を取りたい（名言！）

中村良平

岡山大学経済学部

規模の拡大 民間なら分社化とか事業部制

道州制は 下からの積み上げでつくる仕組みに 上からの分権ではダメだ

地域が活性化しないのは何故かを考える

地域間競争

フルセット型はダメ（勝ち負け・格差が出る） 小さく特化する必要がある

問題は 偉い人が東京に行く 優秀な人が東京に行く 所得の高い人が東京に行く

お金が、他の地域に流出している 漏れている 内部循環の必要性

道州制のキーワード

自立 広域経済 本四架橋 多様性 住みたい地域を選べる

往復チャーター便

香港 マカオ 往復チャーターは珍しい 利用者がイマイチ 中四国一体なら可能
地域間の格差が問題

とくに南関東州＝東京の力への対抗策が重要

ロンドンも英国内では一極集中

産業間では格差が大きいが 文化や主張は大きく異なる EU の役割が大きい

以下は会場質問

古市？

中国経済同友会

地方分権ではなくて 地方主権

四国単独では自立できない 生活が成り立たないはず
しかし四国の人にもプライドあり あんまり中四国州を強調しない方がいいかも
霞ヶ関の解体も 彼らを見方につける方策を研究せよ
一番問題は 住民の安泰・楽観が問題 もっと火を炊き付けろ

＊ ＊

交付税 税財源の考え方を変えないとダメ
東京の企業は全体の26%なのに 税源で46%東京が持っている
ゴミの問題 地方に押し付け 水も 電気も 農林も・・・この点を考えたい
大学も東京にばかり・・・

後半はシンポジウム（質問者が多くて時間不足）

三宅

道州制は山陽道 山陰道で分割
県境があるから困る

九州市長会

対立点 基礎自治体の役割
全部20～30万人は無理がある

松岡

破綻する集落の手当てをせよ

三宅(津山)

道州制は、富の偏在+国の安全保障の観点から考えよ
関東に人口の3割 人災天災 壊滅的な被害の可能性 もっと機能分散を

高部(矢掛)

中央の抵抗 足並みをそろえた 官僚の現況はどうなっているのか

……………まだまだ、多数の質問の挙手があったが…時間不足に終わった……………

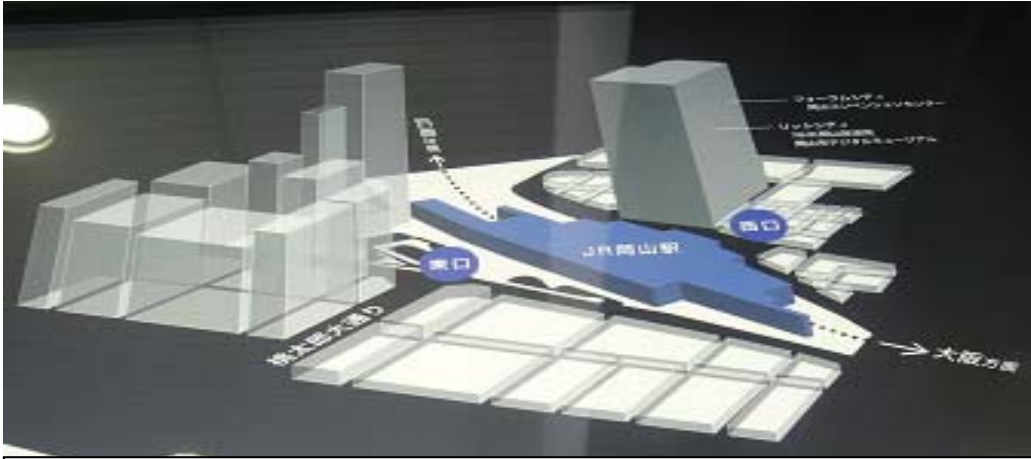
* 以下は州都の玄関として力を入れている駅周辺の見学レポート

リニューアルされた岡山駅（東西自由通路）



新設の2Fコンコースの商店街





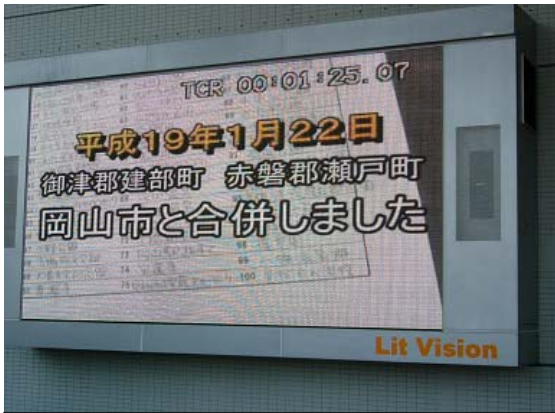
岡山駅周辺開発構想を駅コンコースにパネル展示（斜めはカメラのせいです）



西側開発ビルは全て空中デッキで岡山駅に直結している



巨大な吹き抜け構造の東西デッキ
向かいには新設されたコンベンションビル



駅の大画面にて岡山市合併のドラマ CM
を放映中（15分間隔で放映）